

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	60歳以上ソフトボール大会				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	6	1	11	4	225
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	26 スポーツの振興											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	事業期間		S58	年度～	年度	関連計画 条例等	スポーツ振興法

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市民	住民基本台帳人口:人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			107938	107000		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	この大会を開催することにより、60歳以上ソフトボール愛好者の増加が図られ、高齢者の健康増進につながる。	飯田市の60歳以上ソフトボール大会参加者数(H17-297・H18-283):人	18目標	300	最終目標	23
			18実績	297	19目標	300
			23目標	320	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
23目標				23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	全国からの参加チームを募集し、市内グラウンドで大会を実施する。健康維持、体力向上を図り、生き甲斐づくりとしても寄与する。9月下旬、9箇所で開催。県外チームの参加希望も多く、大会名は全国に知られている。	18年度の実績 9月23日24日に第23回大会として市内9箇所のグラウンドを使用し87チームの参加者を得て実行委員会方式で大会を実施する。市民に60歳以上の方々ソフトボールを楽しんでいることを知らせていく。	参加チーム数:チーム	87
	19年度計画 24回大会として実行委員会方式で大会を実施する。市民に60歳以上ソフトの広報活動を行い、参加チームの増加を図っていく。	参加チーム数:チーム	90	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	250	225
	事業費計(A)	250	225
人件費	正規職員所要時間	18年度 290	19年度 290
	臨時職員等所要時間	50	50
	人件費計(B)	1,091	1,091
	トータルコストA+B	1,341	1,316

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ。競技力が向上する。	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:%	現状値	35	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
健康づくり、生き甲斐づくりを始めた高齢者スポーツの重要性が認識されるなかで、愛好者の全国大会実施の機運の高まりにより、全国規模の60歳以上ソフトボール大会として昭和58年に開始した。	健康意識の高まり 高齢者の増加(全国的) 参加希望チームの増加 試合会場確保のむずかしさ チーム加入者の高齢化	

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	16年度まで課題であった福祉課で対応していた大会と、この大会を一本化できた。 グランドの確保が難しく、大幅な参加チーム数の増加はできないため、現状を維持しながら大会を実施していく。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	60歳以上ソフトを広報することにより、市内のソフトボール実施者の増加を図っていく。

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	